

北総運賃引き下げにあたり、道理ない税金投入はしないことの申し入れ

松戸市長 川井敏久様

北総鉄道の異常に高い運賃の引き下げ問題が、成田新高速の運賃申請をひかえ、重要な局面を迎えています。地域住民は昨年八月、日本共産党の志位和夫委員長も同席した場で、国土交通大臣に「京成本線と同一の運賃に」という一〇万筆を超える署名を提出しました。志位委員長の「運賃認可の際、二重運賃にならないように」という要請に、谷垣大臣（当時）は「おかしなことにならないように、みなさんの納得がいくように指示したい」と答えました。

その後日本共産党は、二月二〇日の国土交通省聞き取り、三月五日の千葉県聞き取り、五月一五日の京成電鉄申し入れ、五月一八日の千葉県申し入れなどにとりくんできました。こうしたなかで、国と県は、成田新高速と北総鉄道の運賃体系が異なる「二重運賃」はありえないこと、北総鉄道の運賃は引き下げる方向で考えられていることを、私たちは確認しました。これは、沿線住民の運動と沿線自治体の行動がかちつた貴重な一歩です。

しぼられた問題は、成田新高速と同じ運賃体系にするという北総運賃が、住民の要求に見合った引き下げの水準となるのか、北総運賃引き下げの原資をどこに求めるのかです。この点で、この間千葉県が主導する沿線六市二村の副市長や担当課長を集めた会議で、北総運賃の5%から一五%の引き下げを市村からの税金投入を含めておこなう方向が話し合われていることは重大です。

税金を払っているのは住民です。税金投入は結局、高運賃で苦しんできた住民の負担で運賃値下げをおこなうものであり、認めるわけにはいきません。また、一〇万余の署名の願いは「京成本線と同一に」、「つまり五〇%程度の引き下げであり、日本共産党は、この住民の要求を支持するものです。

北総鉄道は、京成電鉄の連結子会社です。そして、北総鉄道の上を走る成田新高速は、京成電鉄に大きな利益をもたらします。北総運賃の値下げは、京成電鉄の責任と負担でおこなうべきです。ところが千葉県は、市村に負担を求めながら、京成電鉄の責任と負担については協議もしていないと、私たちに説明しました。

近々千葉県は、六市二村の首長を集めた会議をおこなう予定だと聞いています。その際、市長が、以下の立場をとられるよう、申し入れるものです。

記

- 一、北総運賃の値下げの原資に、道理のない税金投入をあてないという態度を明確にすること
- 二、北総運賃の値下げは、京成電鉄の責任と負担でおこなうよう、京成電鉄に強く求めること
- 三、千葉県に対し、市村と住民の意思を尊重して、国と京成電鉄にものを言うよう強く求めること

以上

二〇〇九年五月二六日

日本共産党松戸市議会議員

伊藤 余一郎

同

中村 多賀子

同

宇津野 史行

同

高橋 妙子

同

高木 健

日本共産党千葉県議会議員

三輪 由美